

参加費無料

令和4年度

おかやま森づくりサポートセンター



活動発表会参加者募集

日時：令和4年12月15日(木) 13:00～15:30 (受付12:30～)

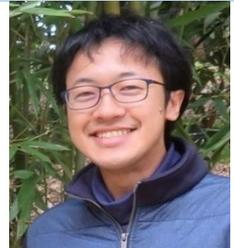
会場：建部町文化センター 小ホール

■講演

今一度、竹について知ろう

講師 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所

研究員 小林 慧人(こばやし けいと) 氏



略歴

1992年11月生まれ。大阪府の北摂地域出身。京都大学大学院農学研究科に進学し、2021年3月に日本のタケの生態に関するテーマで博士号(農学博士)を取得。

同志社大学理工学部研究員(兼、竹コンサルタントななふし)を経て、2021年10月より、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所の任期付き研究員。

研究テーマは主にタケ類の生態および管理。直近では開花(竹の花)に関するテーマに特に力を注いでいる。専門は森林生態(竹林生態)学。竹文化振興協会発行の会誌「竹」、学術雑誌Bamboo Journal編集委員。竹イノベーション研究会関西支部。竹サロン主宰。

講演の要旨

竹は私たちの先人に必要とされて植えられ利用されてきました。先人の生活を支えてきた植物ですが、時代の変化とともに、今では放置されたり邪魔者扱いされたりする存在にもなっています。

各地で野生化した竹と今後付き合いしていく上で何が重要なのでしょうか。具体的な管理技術を知ることが大事なことは当然ですが、同時に、日本人と竹が歩んできた歴史・生まれた文化、タケという魅惑的な植物そのものを知ることも重要だと思います。

今回の講演では、「今一度竹について知ろう」ということで、最近の知見も紹介しつつ、タケ特性を分類学的、形態学的、生活史(タケの一生)の観点からそれぞれお話ししたいと思います。また、これらタケの特性を踏まえ、タケの利活用についても私の知る限りでお話します。

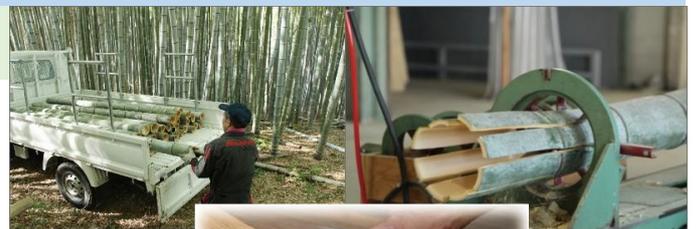
クイズや実物の閲覧もまじえ、できるだけわかりやすい形で説明できればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。会場の皆さんからの竹に関する質問、やりとりも楽しみにしています。

■情報提供

○株式会社 テオリ

竹循環型社会を創る Bamboo cycle project

- 1989年 (有)テオリ設立 家具部品加工を始める
- 1998年 (株)テオリに組織変更
- 2001年 ISO9002取得
- 2002年 ISO9001取得
- 2006年 竹集成材プロジェクト製品「2006ゲットデザイン賞受賞」
- 2017年 経産省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に認定
- 2019年 代表取締役 中山正明氏が山陽新聞 産業功労部門 受賞



■活動発表

ONPO法人 倭文の郷

地域資源を活かしたグリーンツーリズムを通じて体験研修・体験学習等による修学のむらを目指すとともに、過密する都市から過疎化する農村への移住・定住を促進し、均衡のとれた社会の構築に寄与する取組を行っている。



